

バードウォッチング研修会報告書

場 所	伊佐沼公園（川越市）
日 時	令和 7 年 1 月 19 日（金） 9:00~12:00
天 候	晴
講 師	渡辺英城 氏
参加者	池田、星野、芳野、藤井、浅井、河野、辰尾、桑原
報告者	桑原
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥観察を始める前に、野鳥観察の心得やマナーについて講義を受けた。 ・地元川越市在住の池田会長より伊佐沼の歴史や最近の状況について説明を受けた。 ・伊佐沼の遊歩道を回りながら、サギ類、カモ類、シギ類などの見分け方の講義を受けた。 ・伊佐沼では珍しいセイタカシギを観察できた。 ・鳥は紫外線が見えるので人間より色の認識が多いなど生態に関する講義を受けた。 ・今回の研修会では、約 20 種類の野鳥を観察することができた。
特 記	<ul style="list-style-type: none"> ・伊佐沼は埼玉県最大の自然沼で関東では印旛沼に次いで 2 番目に大きい自然沼のこと。 ・現在の伊佐沼は時期的に水位が下がっており、所々が干潟のようになっていた。 ・渡辺講師よりヨシとセイタカヨシの見分け方について講義を受けた。 ・希少種のキタミソウの花を観察することができた。 ・渡辺講師や池田会長は、原因は分からぬが最近野鳥の数が減っていると感じている。 ・伊佐沼のハスが絶滅の危機にあり、アカミミガメの影響とも言われているが、明確な原因は未だ不明とのこと。

写真添付



観察は安全に配慮して行われました。



中州で休むカワウ（黒）とサギの仲間（白）



絶滅危惧種の「キタミソウ」

